

Jun 14 2017. 6.14



ACOUSTIC WEATHER REPORT

MAKOTO KURIYA
KOICHI OSAMU
HIROYUKI NORITAKE



SICJ 10002 / STEREO

©2016 Sony Music Japan International ©2016 Sony Music Japan International
Manufactured by Sony Music Labels Inc. Made in Japan. ℗ is a Trademark.

WARNING: All Rights Reserved. Unauthorized duplication is a violation of applicable laws.

ACOUSTIC WEATHER REPORT

PERSONNEL

クリヤ・マコト : ピアノ
MAKOTO KURIYA: piano

納 浩一 : アコースティック・ベース
KOICHI OSAMU: acoustic bass

則竹裕之 : ドラムス
HIROYUKI NORITAKE: drums

録音: 2016年6月2日&13日 ソニー・ミュージックスタジオ
(DSD2ch無編集ダイレクト録音)

01 **CANNON BALL** | キャノン・ボール (7:06)
(Josef Zawinul) - from [BLACK MARKET]

02 **ELEGANT PEOPLE** | エレガント・ピープル (5:53)
(Wayne Shorter) - from [BLACK MARKET]

03 **HAVONA** | ハヴォナ (5:56)
(Jaco Pastorius) - from [HEAVY WEATHER]

04 **A REMARK YOU MADE** | お前のしるし (6:41)
(Josef Zawinul) - from [HEAVY WEATHER]

05 **PALLADIUM** | パラディウム (6:29)
(Wayne Shorter) - from [HEAVY WEATHER]

06 **TEEN TOWN** | ティーン・タウン (6:03)
(Jaco Pastorius) - from [HEAVY WEATHER]

07 **YOUNG AND FINE** | ヤング・アンド・ファイン (5:50)
(Josef Zawinul) - from [MR.GONE]

08 **BIRDLAND** | バードランド (5:37)
(Josef Zawinul) - from [HEAVY WEATHER]

ボーナストラック

09 **VIEW THE WORLD** | ヴュー・ザ・ワールド (5:15)
(Makoto Kuriya)

●BS朝日「いま世界は」テーマ曲 (放送とは別バージョンの、DSD方式による再録音です)

01, 02, 05, 07, 08, 09 : arranged by Makoto Kuriya

03 : arranged by Makoto Kuriya, Koichi Osamu and Hiroyuki Noritake

04, 06 : arranged by Makoto Kuriya and Koichi Osamu

Produced by Motoshi Sugita and Makoto Kuriya

Recording and Mastering Engineer: Koji Suzuki (Sony Music Studios Tokyo)

Assistant Engineer: Masayuki Haru, Madoka Kanbe (Sony Music Studios Tokyo)

Recording: June 2&13, 2016 Sony Music Studios Tokyo (DSD 2ch Direct Recording)

Executive Producer: Kumiko Ishizuka

Production Manager: Sachiko Kishida (Music Seraph)

Promoter: Yasuo Fukuda

Designed by Jam Suzuki

Photo by Keichi Morishima

Product Coordinator: Akiko Ito (Sony Music Communications Inc.)

Sales Promotion: Ayaki Tomiyama (Sony Music Marketing Inc.)

Special Thanks to:

Tsutomu Tsuchiya (Music Seraph)

Yuko Tadano (Music Seraph)

Tadashi Chiba (FRY)

Yasuko Okubo, Naoya Meguro (Yamaha Corporation)

Wataru Mizuno, Ikuko Goda, Yoshito Heima (TV Asahi Corporation)

Hiroshi Ohtsuki

Toshio Tsunemi

Hiroyuki Noritake uses: SAKAE Drums, Zildjian Cymbals





「アコースティック・ウェザー・リポート(AWR)」は、2015年5月に結成された素晴らしいバンドである。メンバーは、クリヤ・マコト(ピアノ)、納浩一(ベース)、則竹裕之(ドラムス)という日本が世界に誇る名プレイヤーが集結。コンセプトは、1970年代フュージョンの最高峰バンド「ウェザー・リポート」の音楽をあえて生楽器、それもピアノ・トリオで、現代にフィットさせる形で提示することだ。当時の最先端の電子楽器グループである「ウェザー・リポート」を、最小限のトリオで表現するという挑戦は大変なことだ。「AWR」は、3回のツアー(2015年5月、11月～12月、2016年4月)を経て、急速に成長と成熟を遂げた。その輝かしい成果がこのアルバムである。こんなに斬新なピアノ・トリオを聴いたことがない。息をのむような素晴らしい出来である。聴き終えると大きな感動に包まれることだろう。また、本作のもうひとつの大きなポイントがDSD録音を決行したことだ。物凄く良い音にビックリされることだろう。AWRは、〈1970年から高音質を目指して行われた“ダイレクトカッティング”〉同様に、「修正不能な一発録音(DSD)」をした。すなわち「パンチン+編集」(トラックの中から必要な部分を録り

直して上書き)が常識になっている現代にあえて、一発録音すること(しかも演奏素材がとても難しい)は、常日頃の技術面の鍛錬と録音時の集中力と度胸が必要。その結果、最高の演奏が最高の音となったのだ。お楽しみ頂ければ幸いである。

「AWR」のメンバー紹介をする。クリヤ・マコトは神戸生まれで、米国のウエストバージニア州立大学に進学した。米国で現地のミュージシャンたちと深く交流し、日本人離れたソウルフルな演奏が出来る。近年は海外の活動も大変活発で、日本での忙しい仕事と合わせ、八面六臂の活躍をしている。あのハービー・ハンコックに絶賛された「真の実力」を持ったピアニストである。現在までに18枚のリーダー作をリリース。その内容は多岐に渡り、伝統と未来を融合した多様性を持つ。納浩一は、大阪生まれ。京都大学～パークリー音楽大学と素晴らしい経歴を持つ。アコースティックもエレクトリックも両方上手い。渡辺貞夫を始め多くのアーティストから頼られる引っ張りだこの人気ベーシストである。則竹裕之は、1985年に人気フュージョンバンド“T-SQUARE”に加入し、一躍人気ドラマーとなった。以来ずっと第一線で活躍

中だ。あのフィリップ・セスに「日本トップのドラマー」と言わしめた実力派ドラマーである。

さて「ウェザー・リポート(WR)」は、1970年秋、マイルス・デイビスのバンドを退団したサクソ奏者のウェイン・ショーターとキャノンボール・アダレイのバンドを退団したジョー・ザヴィヌルが結成したスーパーグループ。つまり最高の楽器表現者であるウェインと最高の作編曲者ジョーが作った。ウェインは、マイルスのバンドで演奏していたような長々としたソロを止め、簡潔で無駄のないソロや間接的な表現を多用するようになった。一方ジョーは、所狭しとキーボードやシンセを並べ絶え間なく忙しく手を動かした。両者の間(やがてバンド全員)には緊密な相互作用があり、WRの演奏はソロと伴奏の区別のつかないものがある。「私たちの演奏はソロであるがソロでない」というジョーの名言が残っている。WRは、15年間活動し、16枚のアルバムを残し、世界中から愛された。いまなおウェザー・リポートを受け継ぐバンドは出現していない。しかしながら、今、ここに、正統に受け継ぐアコースティック・ウェザー・リポートが日本から誕生したのだ。

ウェザー・リポートの評価は、時が経つほどに高まるば

かりだ。今も世界中に根強いファンが多い。彼らのキャリアの中でも最も輝いていたのが、“最強”と称された1976年～79年のWRで、ベースのジャコ・パストリアスが在籍していた。本作にはウェザー・リポートの楽曲は全部で8曲収録されているが、ほぼこの時期から選曲されている。具体的には、アルバム『ブラック・マーケット』(WR通算7作目)からは「キャノンボール」(①(1曲目のこと))と「エレガント・ピープル」(②)の2曲。『ヘヴィー・ウェザー』(通算8作目)からは、「ハヴォナ」(③)、「お前のしるし」(④)、「パラディウム」(⑤)、「ティーン・タウン」(⑥)と「バードランド」(⑧)の5曲。『ミスター・ゴーン』(通算9作目)から「ヤング・アンド・ファイン」(⑦)の1曲である。またウェザー・リポートのアルバムの中では、『ヘヴィー・ウェザー(悪天候)』は圧倒的な売り上げを誇る。発売後、瞬く間に50万枚も売れた。普通のジャズメンなら、その1/10でも大喜びするだろう。『ヘヴィー・ウェザー』後、演奏場所が小さなクラブから大ホールに変わった。まさに日の出の勢いだった。この成功は、WRの革新性が遂に時代と合致したことを意味する。従来、ジャズは個人のソロを中心としていた。

しかしWRは、バンド全体が生み出す「サウンド」を中心に、ジャズ概念を組み替えていった。エレクトリック・サウンドとアコースティック楽器の融合、また綿密に作曲された部分と驚異的な即興部分の結合が見事に成功した。WRはジャズ界はもちろんのこと音楽業界に衝撃を与えた。

それではアルバムを聴いてみよう。1曲目の「キャン・ボール」は、ジョー・ザヴィヌルのオリジナルで、キャン・ボール・アダレイが1975年8月8日、46歳の若さで亡くなったときに、彼に捧げて書いた。ジョーはキャン・ボールのバンドで10年間働き、有名になった。この曲のクリヤのピアノは、とても美しい。静かに始まり、やがて天上界に辿り着く。その音はまるでやさしく寄せる波のようであり、めまぐるしく変わり続ける世の中を情熱的に生きたキャン・ボールのようでもある。クリヤのピアノからはとてつもない情熱が伝わってくる。まったく無駄がなく、これ以上に弾き過ぎてはいけないところまでとめている。ドラムスとベースの一体感も申し分なく、このアルバムの価値の高さが1曲目から全開している。「エレガント・ピープル」は、ウェイン・ショーターが書いたドラマティックな曲。クリヤの空か

ら舞い降りてくる天女のようなピアノの音に、則竹のドラムが重なる。やがて納のベースも加わり、爽やかな風の中を駆け抜けるようなテーマが流れる。ソコに入ると、納の高速ベース・ソコ、軽やかなクリヤのピアノ・ソコ。最後は則竹の怒濤のドラム・ソコ。煽るピアノとベース。AWRの類まれな素晴らしい才能が存分に発揮された曲だ。「ハヴォナ」は、ジャコ・パストリアスが書いた曲。この曲は人気が高いが難しい。オリジナルのWRの演奏も珍しく全編完全即興でやっていた。ジャコ、ジョー、ウェインのアドリブが凄かった。こんな曲を演奏するクリヤ、納、則竹たちも物凄い。たった3人でまるでシンフォニーを奏でているようだ。ジャコ・パストリアスに触発されてベースを始めた納のウォーキング・ベース、躍動するアドリブ。この曲も最後の則竹のドラム・ソコが格好いい。「お前のしるし」は、ジョーが書いた曲。アルバム中、最も美しい曲。いつまでも心に残る曲。この曲を知るとは、なにか人生の重要なことに出合ったようなものだ。この曲はジョーとウェインの組み合わせが綺麗だが、ここではクリヤと納がうまく連携して、本家のWRに勝るとも劣らない屈指の演奏を聴かせる。クリヤのピアノ・ソコ

も涙がとまらないぐらい美しく素敵である。そして納の太くて温かいベース・ソコもとても良い。「パラディアム」は、その名の通り、ニューヨークの52丁目にあるジャズ・クラブに捧げて、ウェイン・ショーターが書いた曲。この曲もテーマが格好いい。元々クリヤのピアノには豊かな表現力が加わっていたが、最近のクリヤはその能力にますます磨きがかかった。更にクリヤ、納、則竹の3人は、見事に融合(フュージョン)している。どれも情熱的でしかも洗練されている。これぞ、WRの精神である。「ティーン・タウン」は、ジャコ・パストリアスが書いた曲。いきなり納が物凄い存在感でベースを弾きまくる。この曲名は、ジャコの故郷フロリダにあるユース・クラブの名前だ。「ヤング・アンド・ファイン」は、ジョー・ザヴィヌルが書いた。「ミスター・ゴーン」から唯一選ばれた曲だ。「ヤング・アンド・ファイン」は素晴らしいコードの連続でサンバのようなリズムを作っている。クリヤは後半を4ビートに変化させて格好いい。これは有名でないが、とても良い曲である。そんな曲に陽を当てるAWRのセンスが嬉しい。「バードランド」は、ジョーが書いた大ヒット曲。チャーリー・パーカーのあだ名を店名にしたニューヨークの

有名なジャズ・クラブ。1950年代に隆盛を極めた。前述したウェインが書いた曲名のクラブ「パラディアム」の隣にあった店だ。この曲は、どこか懐かしく明るく、それでいて斬新でもあり素晴らしい。納のベースが効果的である。クリヤのピアノを聴くと軽々と弾いているので簡単そうだが実は難しい。クリヤは乗りに乗ってスイングまくる。次いで納のベース・ソコも格好いい。後半のアレンジもいい。最後の曲「ヴェー・ザ・ワールド」は、クリヤ・マコトのオリジナルで、BS朝日『いま世界は』のテーマ曲。明るく生き生きとしたメロディは、国際問題に深く切り込む番組の鋭いイメージにピッタリ。ラテン・テイストの爽快な演奏だ。

このアルバムを通じて、ウェザー・リポートの再認識が起ることを願う。そして「アコースティック・ウェザー・リポート」のトリオ活動、圧倒的な演奏に今後も注目していこう。彼らのライブは最高である。ぜひ一度、生を聴きに行かれることをお勧めしたい。



MAKOTO KURIYA PIANO

クリヤ・マコト: ピアノ

ウェストバージニア大学在学中から、10年あまり米東海岸でジャズ・ピアニストとして活躍し、多くのジャズの巨匠と共演。この10年間は毎年のように欧州ツアーを行い、ブラジル・ツアー、オーストラリア・ツアー、モロッコ公演、エジプト公演、台湾公演を成功させるなど、常にワールドワイドに活動を展開する異才である。

学生時代に交流を深めた黒人コミュニティの影響を受け、ソウルフルなプレイと鋭いナイフのような切れ味が特徴。海外では「歌舞伎」を思わせるメリハリの利いたプレイと評される。

現在までに18枚のリーダー作をリリースしている。

時にジャズメンという枠に収まらぬ多才ぶりを発揮し、平井堅、八代亜紀などポップスの作・編曲家、プロデューサー、映画音楽監督としても活躍。BS朝日「いま世界は」、BS-TBS「サタデー・ドキュメント」、BS 12「歌謡ナイト jazzyなライブショー」で音楽を担当中。

また2016年2月には、マリーン(vo)、吉田次郎(g)と結成した「Threesome」でアルバムをリリース。
オフィシャル・ウェブサイト=<http://www.makotokuriya.com/>

KOICHI OSAMU BASS

納 浩一：アコースティックベース

大学卒業後パーカー音楽大学に留学し、クラーク・テリー、スライド・ハンプトン、タイガー大越など、多くのミュージシャンと共演。'85、'86年度のパーカー・エディ・ゴメス・アワード受賞。

卒業後帰国し、渡辺貞夫グループ、森山良子グループに参加して活躍。

また桑田佳祐、石井竜也、平井堅、マンディ満ちる、Birdなど

ポップス系ミュージシャンのレコーディングやツアーにも多数参加。

自己のソロアルバム「琴線」をリリースするほか、ジャズカルテット「EQ」でも多くのアルバムをリリース。

驚異的なフレー징を奏でるウッドベース、なめらかなビートを刻むエレキベース共に優れ、

まさに日本ジャズシーンを代表するトップベーシストの一人である。

オフィシャル・ウェブサイト=<http://www.osamukoichi.com/>



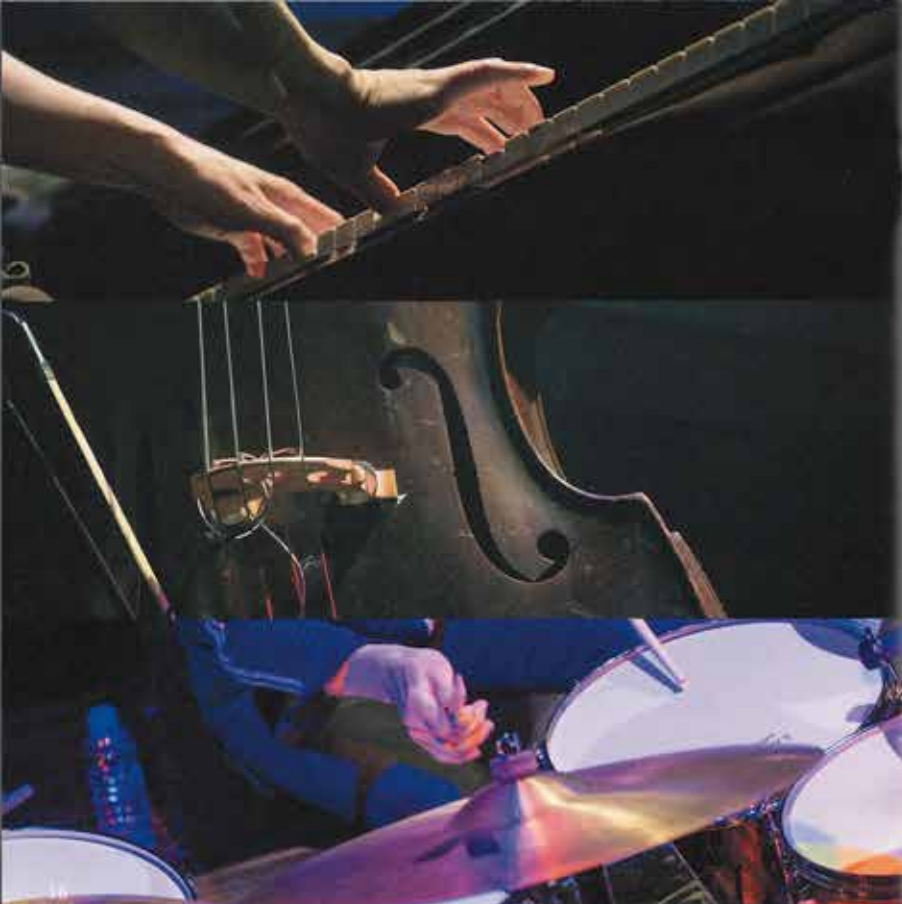
HIROYUKI NORITAKE DRUMS

則竹裕之：ドラムス

85年THE SQUAREに加入しデビュー。米PLAYBOY JAZZ FESTIVALへの出演、10回に及ぶ日本ゴールドディスク大賞JAZZ部門受賞など、在籍15年に渡って活躍した。99年にはソロアルバム「DREAMS CAN GO」を発表。退団後は渡辺真夫クインテット、渡辺香津美グループ、本田雅人グループ、unit asia、BATTLE JAZZ BIG BAND、DIMENSION等のメンバーとして長年ジャズ・フュージョン界を牽引してきた。2010年より平原綾香のツアーおよびレコーディングのレギュラーを務める。神保彰とのツイン・ドラム・ユニット Synchronized DNAでモントリオール・ドラム・フェスティバルに出演するなど、海外でも高い評価を得ている。昭和音楽大学講師も務め、後進の指導にも意欲的に取り組んでいる。

オフィシャル・ウェブサイト=<http://www.dreamscango.com/>





Super Audio CDについて





Super Audio CDはソニーとフィリップスがCDで培ったノウハウと最先端の技術を結集して共同開発した新世代のオーディオディスクです。音楽の感動を余すところなく伝えるために、録音周波数帯域を100kHz*までも拡張し、ダイナミックレンジも120dB(可聴帯域内)以上と大幅に拡げました。これは信号の記録再生変換行程が非常にシンプルなDSD(Direct Stream Digital)と呼ばれる新しい記録方式を開発・採用することで達成しました。*帯域上の数値であり、プレーヤーあるいはソフトによっては実際の再生周波数帯域とは異なります。

DSD<Direct Stream Digital>について



DSDはアナログ音楽信号をデルタシグマ変調器で高速1ビットのデジタル信号に変換し直接記録する方式です。従来のCDなどに用いられているPCM方式に比べ64倍もの細かさで信号の波をパルスの高密度波として記録し、再生時も複雑な波形再構築の作業が無くシンプルで自然な音楽信号が再現できます。このアナログ信号に近いデジタル記録方式が音楽の空気感までも伝えることができる秘密なのです。

ディスクのレイヤー構造について

Super Audio CDソフトには、DSD方式で記録された高密度層のみのディスクと、通常CDプレーヤーで再生可能なPCM方式で記録されたCD層との二重構造を持つハイブリッドディスクがあります。またDSD方式で記録された高密度層のみのディスクの中にも、収録時間の拡大を図るために二重に記録層を持つデュアルレイヤーディスク(二重構造)がありと表記し区別しております。

 and  are Trademarks.

●このディスクはCD層とSuper Audio CD層の二層構造のハイブリッドディスクです。CD層は通常のCDとしてお楽しみいただけますが、一部のDVD再生機器では再生できない場合がありますのでご了承ください。Super Audio CD層は対応プレーヤーでSuper Audio CD再生モードにてお楽しみください。

【取り扱い上の注意】●ディスクは両面共、指紋、汚れ、キズ等を付けないように取り扱って下さい。●ディスクが汚れたときは、乾いた柔らかい布で内周から外周に向かって放射状に軽くふき取って下さい。レコード用クリーナーや溶剤等は使用しないで下さい。●ディスクは両面共、指紋、ボールペン、油性ペン等で文字や絵を書いたり、シール等を貼付しないで下さい。●ひび割れや変形、または接着剤等で修繕したディスクは、危険です。絶対に使用しないで下さい。【保管上の注意】●直射日光の当たる場所や、高温・多湿の場所には保管しないで下さい。●ディスクは使用後、元のケースに入れて保管して下さい。●ケースの上に重いものを置いたり、落としたりすると、ケースが破損し、ケガをすることがあります。

ご購入いただいた商品に関するお問い合わせ：株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント
〒102-8353 東京都千代田区六番町4番地5 phone 03-3515-5111

Sony Music Official Site <http://www.sonymusic.co.jp/>



- 01 CANNON BALL
 02 ELEGANT PEOPLE
 03 HAVONA
 04 A REMARK YOU MADE
 05 PALLADIUM
 06 TEEN TOWN
 07 YOUNG AND FINE
 08 BIRDLAND
 BONUS TRACK
 09 VIEW THE WORLD
 (BS 朝日「いま世界は」テーマ曲)

PIANO
 MAKOTO KURIYA
 BASS
 KOICHI OSAMU
 DRUMS
 HIROYUKI NORITAKE

SICJ 10002 / JASRAC ©IC2016 Sony Music Japan International / Manufactured by Sony Music Labels Inc. Made in Japan. ® is a Trademark.
 WARNING: All Rights Reserved. Unauthorized duplication is a violation of applicable laws.
 このCD・DVDは、一定期間限定発売品ですが、この期間経過後も権利者の許諾なく複製等に使用すること、個人間の複製・個人使用目的での複製すること、また、ネットワーク等を通じてこのCD・DVDに収録された音楽作品を放送する行為は、著作権法で禁じられています。



DSD



Stereo 180 Anamorphic



16-11-3D



Sony Music Labels Inc.



JAZZ

SICJ 10002

実力ジャズメン3人がアコースティックで無編集DSD録音に挑む
フュージョンの王道ウエザー・リポートの最新解釈!

アコースティック・ウエザー・リポート

クリヤ・マント
納浩一
則竹裕之



アコースティック・ウエザー・リポート



クリヤ・マント
納浩一
則竹裕之

HYBRID

SICJ
10002DSD
Direct Stream Digital

HYBRID

Stereo DSD Recording

定価 ¥3,000+税
◎17.5.29まで

2015年、クリヤ・マント(ピアノ)、納浩一(アコースティック・ベース)、則竹裕之(ドラムス)というジャズ/フュージョン界の第一人者によって結成された通称「アコースティック・ウエザー・リポート」は、1970年代フュージョンの最高峰「ウエザー・リポート」の音楽を、あえて生楽器、それもピアノ・トリオでリアレンジすることにより、元祖「ウエザー・リポート」の魅力を再発見しようというコンセプトで始まりました。当時の電気楽器によるサイケデリックな表現を大胆に削ぎ落とし、最小限の編成で楽曲のエッセンス抽出、濃縮したら見事な楽曲の真髄が浮かび上がるんじゃないか?そんな好奇心からスタート。ウルトラハイテクニクが要求されるWRの強烈なナンバーを3人の凄腕ミュージシャンならではのパフォーマンスで無編集修正皆無の超絶音質DSDレコーディング!高音質をそのまま自宅のシステムに送り届けることが可能なハイブリッド・ディスクでの発売。無編集のDSDサウンドのすごさを体験してください!

ハイブリッドディスク

- このCDはSuper Audio CD規格の2層構造です。
- CD層 通常のCDとして再生は可能ですが、一部DSD再生機器で再生できない場合がありますのでご了承ください。
- Super Audio CD層 対応プレーヤーで再生は可能です。



Sony Music Labels Inc.

このディスクは、一
定期間貸与許諾
契約に基づき、この期
間内には権利者の
許諾なく貸與業
に使用すること、個
人的な範囲を超え
る使用目的で複製
すること、また、ネッ
トワーク等を通じ
てこのディスクに収
録された音を送信
できる状態にする
ことは、著作権法で
禁止されています。

16・11・30

L X



ACOUSTIC WEATHER REPORT

ACOUSTIC WEATHER
REPORT
ACOUSTIC WEATHER



DSD



Stereo DSD Hybrid

- 01. HAVONA
- 02. A REMARK YOU MADE
- 03. PALLADIUM
- 04. TEEN TOWN
- 05. YOUNG AND FINE
- 06. BIRDLAND
- 07. VIEW THE WORLD

© 2006 Sony Music Entertainment Inc. / All Rights Reserved. / All Rights of the Manufacturer and of the Owner of the Recorded Work Reserved. Unauthorized Public Performance, Broadcasting, Renting and Copying of this Disc Prohibited. Sony Music Labels Inc. Made in Japan. / JASPPAC